

テーマ： うたがって気づく自分の“世界“

ファシリテーター（グループ）： 情報チーム

対象学年：小学校2年生

1：本テーマの趣旨

本ワークショップを通じて、様々な問題・情報に対し、参加者とファシリテーターが共に考え、自分とは異なる文化・価値観が存在することを知ってもらう。

2：本テーマの目的

一つの事柄にも様々な捉え方があり、自分の捉え方がすべてではない、と考えるきっかけのワークショップにする。また、自分の文化・価値観だけでなく、他の人の文化・価値観があるということを知ってもらう。

また、こうした物事の捉え方に影響を与えているものは何なのかということを考える。その上で、限定された情報の上に作られた個々の価値観に対し疑いを持つ必要性を感じてもらう。

3：本テーマをとりあげる理由

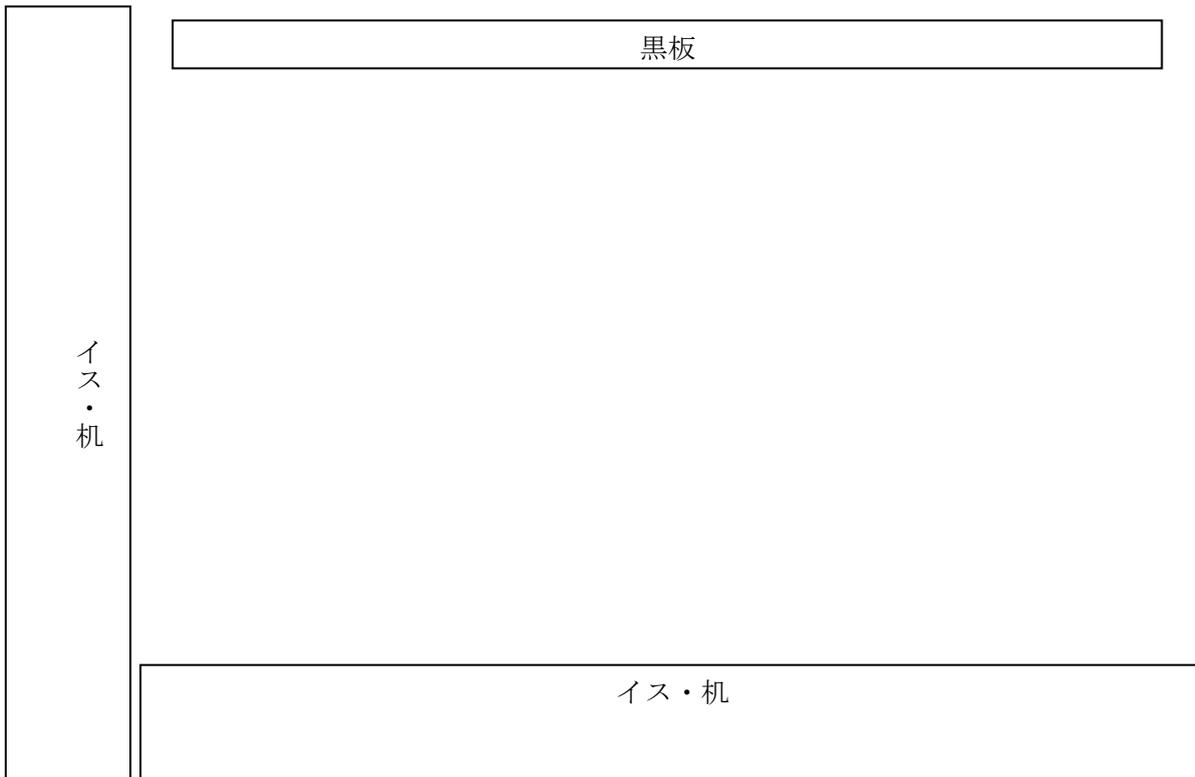
自分の文化・価値観だけでなく、他の人の文化・価値観があるということを知ってもらう。

4：活動過程 (使用時間： 90分 参加人数： 20～40人)

過程 (所要時間)	活動内容とそのねらい	ファシリテーターの支援活動(教材, 発問, 説明, 指示)	使用する教材	生徒の予想される反応. その他, 注意事項
自己紹介 (3分)	ファシリテーター全員の顔と名前を簡単に覚えてもらう。	名札シールを配っておき参加者の名前を書いてもらう。 全員めがねをしていてそれぞれが違う色にする。	名札シール メガネ	名札カードが全員にわたるように注意する。 生徒が机や椅子にぶつからないように注意する。
アイスブレイキング (30分)	温度計 (5分) 世界のあいさつ (20分) チーム分け (5分) 「も」「しか」メガネ (5分)	WS に臨む気持ちを表現してもらう。 各国のあいさつをみんなにしてもらう。 次々に質問をしてグループを分けていく。 価値観・偏見を意味したメガネを暗に見せつつ、生徒に自分の考えを行動で示してもらう。	巨大メガネ2つ	
休憩 (10分)				
展開 (40分)	展開 これは食べ物! ?どんな物! ? (20分)	日本人が普段食べているもの(タコ)と他の国では当たり前前に食べられているもの(犬)を比較して日本の価値観・偏見に気付いてもらう。	写真4枚(タコ・タコ調理後・犬・犬調理後)	

	<p>ブタ紙芝居劇 (15分)</p> <p>メガネの説明</p>	<p>劇と同時進行で紙芝居をする。</p> <p>ブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メガネとは自分の経験や文化によって出来た視点のこと。これをメガネとする。 ・人はそれぞれメガネをかけている。 ・自分はメガネをかけていることを実感してほしい。 		<p>「人によっていろんな見方ができるんだ！」</p> <p>「色メガネを通すと違う意見・考え方になるんだなあ」</p> <p>僕は色めがねをかけてるんだなあ」</p>
<p>まとめ (12分)</p>	<p>全体流れを振り返る (2分)</p> <p>振り返り GW (8分)</p> <p>まとめ (2分)</p>	<p>WS の内容のまとめ</p> <p>WS をした感想や意見をいってもらおう</p> <p>インストラクターは前へ</p>		

5 : 会場のセッティング



6 : 使用する教材

- ・ 手作りメガネ・世界地図
- ・ 磁石・マジックペン・紙
- ・ 画像のプリントアウト

7 : 参考にした資料

小泉吉宏, 『ブッタとシッタカブッタ<3>なあんでもないよ』,
メディアファクトリー, 2003 年

(<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4840107734/>)

Tubalu Overview, 『ツバル 2003 年取材レポート』

<http://www.tuvalu-overview.tv/problem/tuvalu2003/index.html>

野口健公式ブログ, 『ゴミに埋まるツバル』

<http://blog.livedoor.jp/fuji8776/archives/51047850.html>

読売新聞, 『読売年鑑 2002』

http://www.yomiuri.co.jp/nenkan/2002_01c.htm

オーストラリア政府, 『Geoscience Australia』

<http://www.ga.gov.au/geodesy/slm/spslcmp/>